

松島町平成三十一年度施政方針と

一般会計予算の概要

心地よく元気な暮らしを支えるまちづくり

「集い、学び、働き、笑顔あふれる美しいまち 松島」

3月に開催された松島町定例議会で、一般会計予算案他8つの各種特別会計予算案が承認されました。本年度の施政方針と予算の概要について紹介します。

【土地利用】

長期総合計画や国土利用計画で位置づけている、三陸縦貫自動車道のインターチェンジ周辺における産業系の土地利用について、東北放射光施設に関連した企業などの誘致実現に取り組みます。また、都市計画マスタープランの改定および推進について、現在、次期プランの策定を進めています。宮城県で策定する「整備 開発および保全の方針」と調整を図り、土地利用、都市施設などに関する全体構想・地域別構想の作成や都市計画道路の見直しなどを実施します。おおむね20年後を見据えた都市計画に関する基本的な方針を策定します。

【河川・港湾】

宮城県で引き続き進める、高城川の災害復旧および河川改修や松島港災害復旧の早期完成に向け調整をすすめます。

【公園・緑地】

自然そのふれあいを大切にしたいふるさとづくりを重視して、町民の方々と関係機関と遊歩道の一部修繕や広場の草刈り、植栽の手入れを行い、施設の維持管理や景観保持に努め、これまで以上に町民の方々の憩いの場となるように環境を整備します。

【住宅】

耐震対策事業として、旧耐震基準で建築された住宅の耐震診断・耐震改修への助成事業を拡大して実施します。

【上水道】

二子屋浄水場施設建設工事および復興事業などに伴う配水管の移設工事を引き続き実施します。また、水道水の水質検査や放射性物質検査を徹底し、安全・安心な水の供給に努めます。

【下水道】

汚水処理施設の整備について、老朽した施設機器を更新すること

もに、浄化センターの適切な管理に努めます。また、雨水排水施設の整備について、内水排除を最重要課題として、震災により地盤沈下が生じている「小梨屋」、「高城浜・西柳」、「磯崎第二・長田」の雨水ポンプ場の新設・増強を引き続き行います。各排水区の雨水管渠の整備も実施するとともに、各排水ポンプ施設などの保守保全を実施して、生活の安全・安心の確保に努めます。

合併処理浄化槽の設置促進について、公共下水道区域内において、河川法などにより汚水管渠が整備できず、下水道に接続できない町民へ合併処理浄化槽設置整備事業補助金を交付して、生活環境の改善に努めます。

町営バス運営の充実について、路線型デマンド交通の導入に係る実証実験に取り組みます。また、町民の要望に対応した新たな交通ネットワークの確立を図り、町民の移動手段を確保します。広域観光の拠点駅である松島海岸駅のバリアフリー化の推進について、「松島周辺の観光拠点整備推進に関する包括連携協定」に基づき、全面的な改築を進め、平成32年度の実現を目指します。

【情報通信】

広報紙やホームページで、町民の方々の要望に合った情報を適時発信します。また、災害などの緊急時、ホームページおよびフェイスブックを活用することにも、気象情報や避難情報など町民の方々の生活を守るための情報提供に一層努めます。

人・まち・自然、ふれあい安らぐまちづくり

【環境衛生】

家庭ごみの減量化を図るために、事業系ごみの分別に対する啓発を強化し、町全体で再資源化による循環型社会形成を目指します。春と秋に各行政区などの協力で実施している町内一斉清掃活動を行い、町民の清掃意識を高め、「公衆衛生組合連合会」および「環境美化推進委員」と緊密に連携するとともに、更なる不法投棄防止対策を強化します。

近年、多発する自然災害に備え、地域の防災力を高めるとともに、総合的な防災対策の推進、消防体制の充実を図ります。また、引き続き職員を防災士として養成し、自主防災組織の運営や訓練に対する指導・支援の強化します。さらに、消防団の装備基準に基づき装備品を整備し、消防団員の安全を確保しながら、迅速な消防活動ができるよう消防力の充実強化を図ります。

自動車交通騒音などを監視するため、環境基準達成に向けて定期的に自動車交通騒音測定および環境騒音測定を実施します。また、国や県などの関係機関と連携して騒音対策を推進します。

地域防災計画について、災害対策基本法や災害関連計画の改正などにより、地域防災計画の大幅な見直しをする必要があることから、平成31年度までの2か年で地域防災計画の改定を進め、防災体制の充実・強化に努めます。

【交通安全】

町民および関係機関の協力のもと、平成29年7月16日に達成した「交通死亡事故1500日」の記録を更新できるよう、交通安全指導隊員を確保するとともに、交通安全思想の普及啓発に努め、関係機関と協力して交通安全啓発活動を推進します。また、カーブミラーなどの道路交通安全施設の整備を進め、交通事故を防止します。

復興交付金を整備した避難施設などに付いて、施設の有効利用や適切な維持管理に努めるとともに、備蓄倉庫への災害用備蓄品の充足を進めます。

防災行政無線について、災害時の情報伝達力を高めるため、戸別受信機を行政員および難聴区域の町民の方へ計画的に配布します。また、屋外拡声局のバッテリー交換など、設備の適切な管理を徹底します。

心も体もすこやかに笑顔あふれるまちづくり

【保健・医療】

健康増進事業の推進について、保健・医療・介護等との連携により、疾病予防や健康増進などを取り組、健康寿命の延伸を目指すとともに、本町の健康課題である糖尿病対策に重点を置き、ウォーキングマップを活用した運動教室の実施や検診未受診者などに対する受診勧奨、広報・ホームページなどを活用した正しい健康情報の発信などを実施します。

健康増進事業の推進について、総合対策大綱や宮城県自殺対策計画、地域の実情などを踏まえ「松島町自殺対策計画」を策定するとともに、各種専門機関や相談機関などとのネットワークづくりを推進します。

地域医療対策事業の推進について、歯科保健対策として、歯科口腔保健センターの整備費用に係る一部助成を行い、二市三町連携による歯科保健に関する啓発や人材育成などに活用します。

健康館運営事業の推進について、施設の改修工事を行うとともに、老朽化が著しいため、施設の今後の在り方と方向性を検討します。

【高齢者福祉及・介護予防】

高齢者福祉事業について、ひとり暮らし老人等緊急通報システム

事業や宅配夕食サービス事業などを継続し、地域の方や関係機関と連携を強化し、高齢者の見守り体制を強化します。また、超高齢社会に対応した敬老事業および保健福祉センターの長期的な管理運営について検討します。

【児童福祉】

保育所の在り方について、既存保育所の集約と新たな保育所1か所の新築に再編成する方向性で進めています。平成30年度は、高城保育所の改築を先行するための具体的な業務を行うとともに、民間保育所の参入を促すための施策を推進し、本町における幼児保育の新たな将来像の具現化を図ります。

保育環境の整備について、立地や設備だけでなく、保護者や子ども達にとってより良い子育て環境の充実や質の高い幼児教育の提供に努めるとともに、保育士派遣に係る業務委託を引き続き実施し、適切な保育士配置に努めます。

また、発達障害児者支援開発事業を引き継ぎ、継続的な子ども発達相談や支援体制の構築に努めます。

●主な事業	
防災行政無線戸別受信機整備事業	8,586千円
地域防災計画見直し事業	4,500千円
消防団第5分団消防車庫建設工事	16,665千円